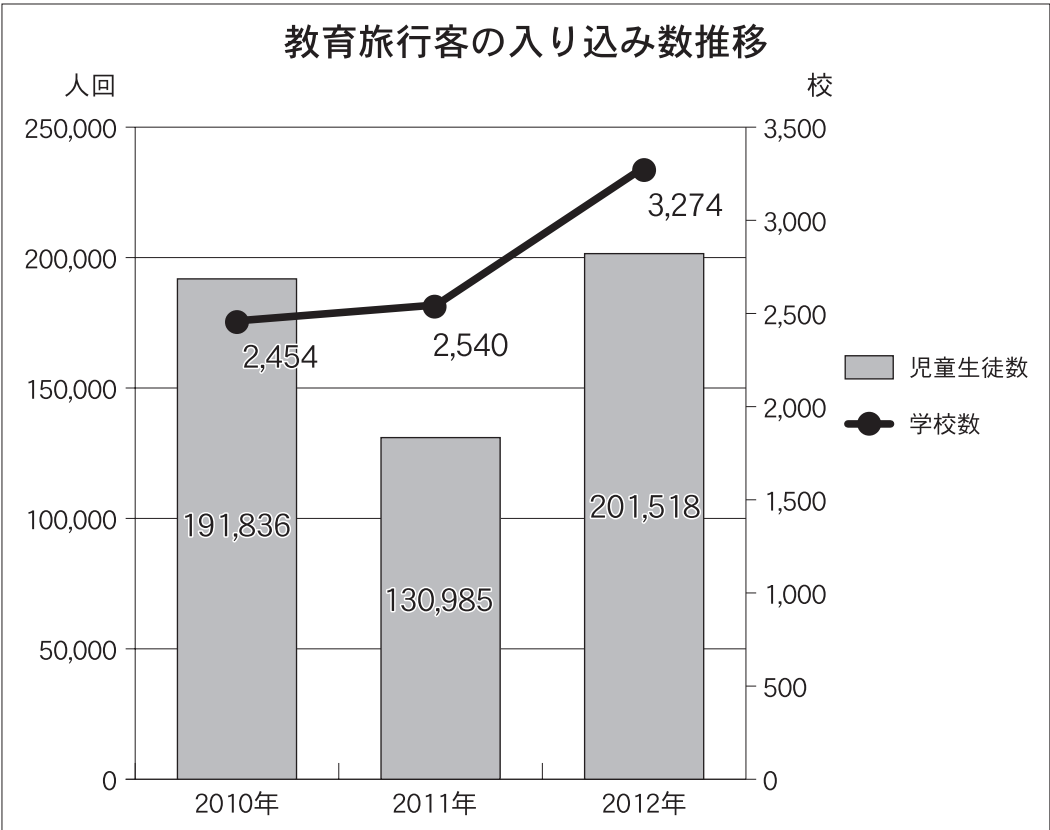


岩手県 2012年の教育旅行客・外国人観光客



岩手県商工労働観光部観光課はこのほど、昨年1年間(2012年1～12月)の教育旅行客、外国人観光客の入り込み動向をまとめた。教育旅行客の入り込みは学校数が延べ3,274校、児童生徒数が20万1,518人回で、前年比で28・9%、53・8%それぞれ増加。東日本大震災前の前々年比でも33・4%、5・0%それぞれ増加した。

一方、外国人観光客の入り込みは4万6,841人回で、前年比63・0%増加。ただ、前々年比は53・6%減少した。

■教育旅行客
校種別の入り込み割合は、小学校が40・0%、中学校が35・4%、高等学校が17・7%。震災・津波以降、宮城県の小学校の入り込みが大幅に増加している(延べ10,244校、5万1,171人回で、人数の全体に占める割合は25・4%)。

■外国人観光客
震災・津波による風評、特に放射能汚染に対する不安が払拭されず、東北を中心に訪日旅行が敬遠されている中、国・地域によっては少しずつ回復している。

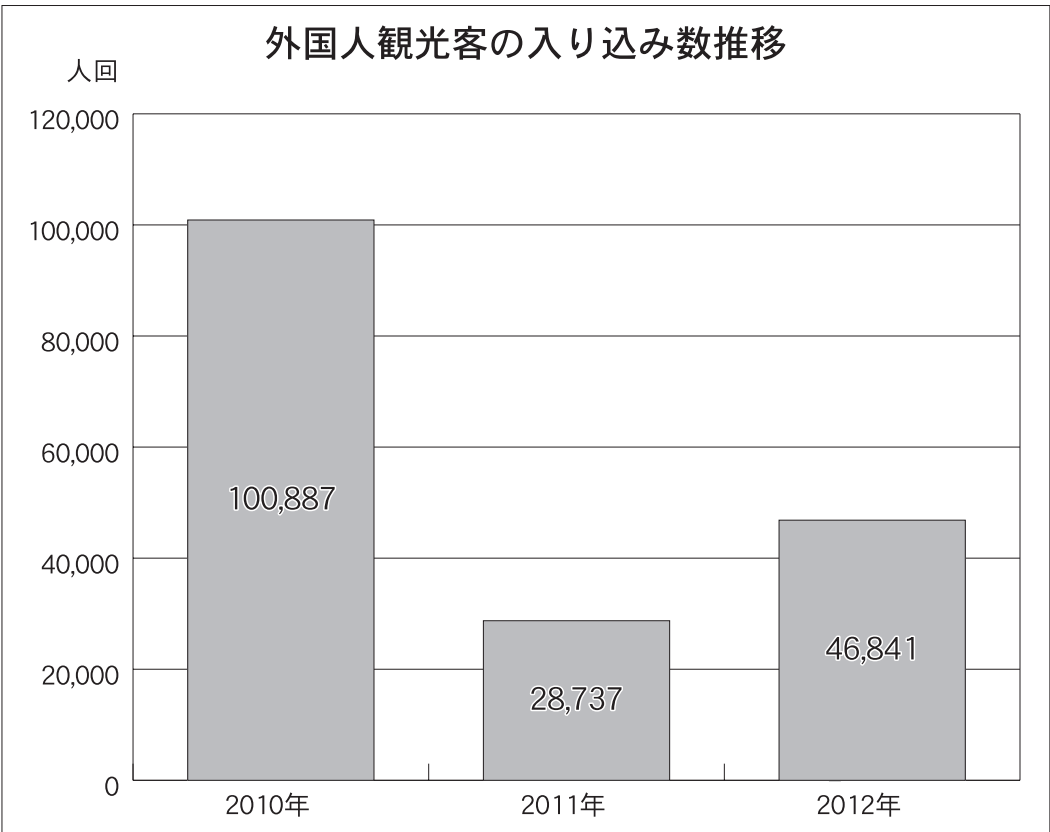
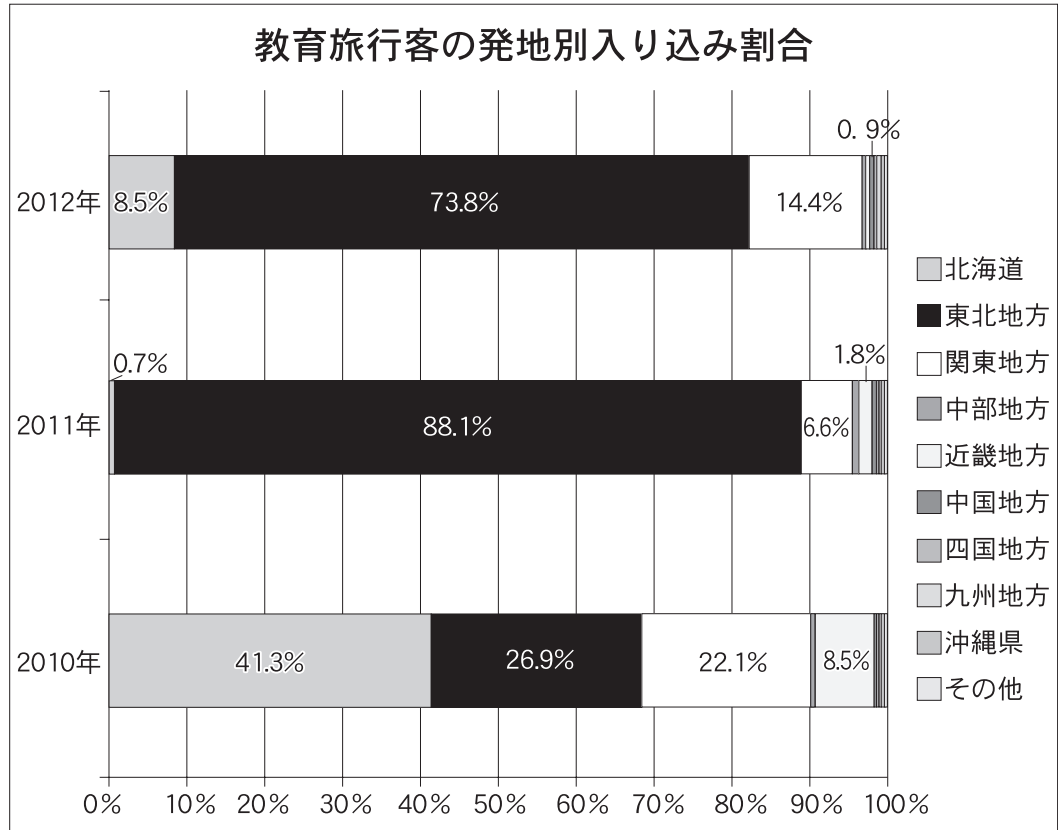
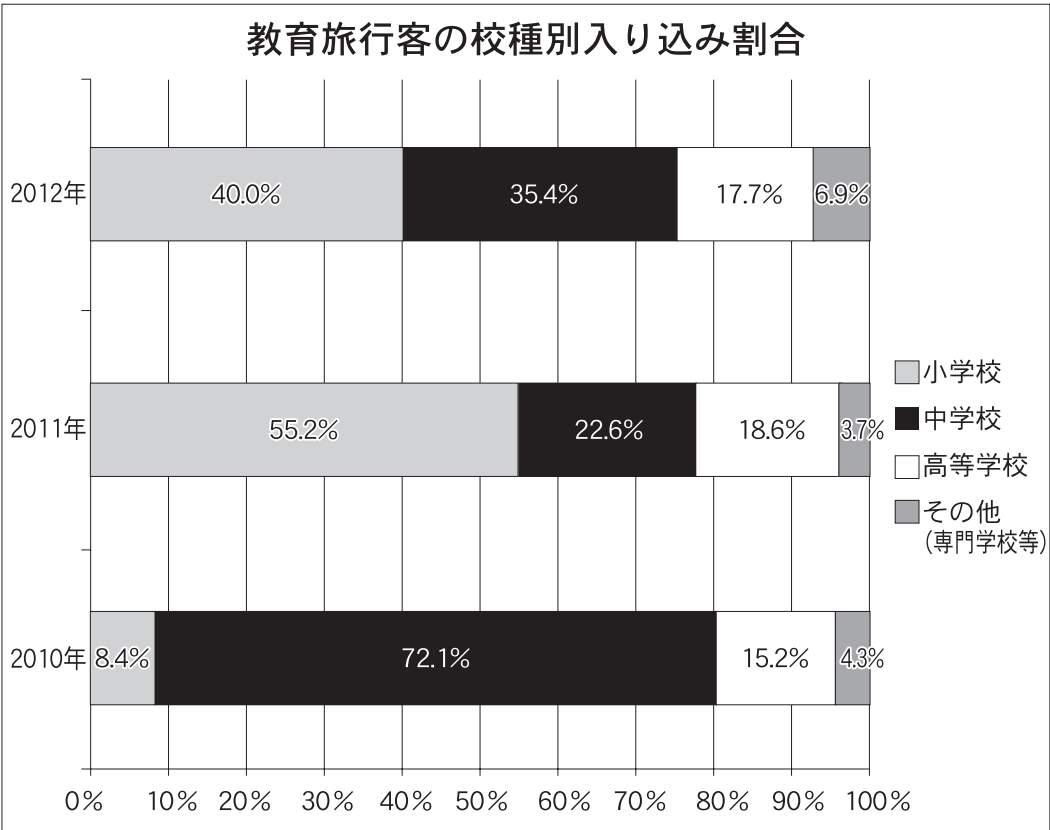
■外国人観光客
震災・津波による風評、特に放射能汚染に対する不安が払拭されず、東北を中心に訪日旅行が敬遠されている中、国・地域によっては少しずつ回復している。

外客は震災前の約半数 少しずつ回復の動きも

発地別の入り込み割合は、東北地方が73・8%、関東地方が14・4%、中部地方が0・9%、近畿地方が0・7%、中国地方が6・6%、四国地方が1・8%、九州地方が8・5%、沖縄県が0・9%、その他が0・9%。

■外国人観光客
震災・津波による風評、特に放射能汚染に対する不安が払拭されず、東北を中心に訪日旅行が敬遠されている中、国・地域によっては少しずつ回復している。

■外国人観光客
震災・津波による風評、特に放射能汚染に対する不安が払拭されず、東北を中心に訪日旅行が敬遠されている中、国・地域によっては少しずつ回復している。



外国人観光客四半期別入り込み推計表 (単位: 人回、%)

国・地域	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	合計	構成比
アジア	韓国 913	286	464	1,317	2,980	6.4
	中国 366	2,720	725	292	4,103	8.8
	香港 1,083	353	529	828	2,793	6.0
	台湾 4,126	3,781	2,957	10,545	21,409	45.7
北米	アメリカ 378	740	659	279	2,056	4.4
	カナダ 43	71	51	80	245	0.5
ヨーロッパ	イギリス 91	55	59	89	294	0.6
	ドイツ 26	47	137	43	253	0.5
	フランス 16	24	60	33	133	0.3
東南アジア	シンガポール 4	79	8	180	271	0.6
	タイ 122	162	42	441	767	1.6
オセアニア	オーストラリア 228	82	20	258	588	1.3
その他	1,089	2,750	2,558	4,552	10,949	23.4
合計	8,485	11,150	8,269	18,937	46,841	100.00

